

集団宿泊訓練

4月26日から28日まで、国立江田島青少年交流の家で集団宿泊訓練を実施しました。この行事は、毎年、入学して間もないこの時期に1年生を対象として実施しているものです。

この研修は時間を厳守し、しっかりとした挨拶を励行することや、本校で学ぶ3年間の学校生活を充実させるために、県工生としての基本的な生活習慣を身につけることを最大の目標としています。さらに2泊3日寝食を共にすることによって、交友関係を作り上げることでした。

新入生320名の内、体調不良等で6名の生徒が参加できませんでした。また、2日目の午後降雨によって一部研修プログラムを変更しなければなりませんでした。おおむね当初の目標を達成することができたと思います。

主な実施プログラムはカッター訓練、古鷹山への登山、オリエンテーリング、集団行動でした。クラス毎の校歌斉唱なども含み、内容のあるものとなりました。雨が降ったとはいえ、交流の家の体育館、講堂、研修室を他の利用団体とうまく調整がとれて利用することができました。交流の家の施設が充実しているため降雨に見舞われてもその施設を充分活用して研修を進めることができました。

江田島を離れる直前に、今回の研修について生徒たちにアンケートを実施しました。その結果、今回の研修に意欲的に参加できたかとの項目については、生徒のすべてが、「とても意欲的にできた」(68%)または「意欲的にできた」(32%)と答えています。ルールを守ることができたかについても、97%の生徒が守れたと回答しました。一部集合時間に遅れた生徒や食事のマナーが十分ではなかったと回答した生徒もいましたが、多くの生徒が規律を意識した行動がとれていました。

生徒からのアンケート結果からも、初の目的を達成できた訓練となりました。

最後に3日間お世話になりました国立江田島青少年交流の家に感謝申し上げます。

